



# GYAKUTEN

## LLMOウェブ制作サービス説明資料

---

すべての逆境に、最高の逆転劇を。

## LLMOウェブ制作とは？

※サービス提供中の事業環境変化、技術仕様変更等により、期待する成果が得られない場合があります

AI検索・生成の時代において、中小企業や個人事業主のWeb戦略を根本から進化させるためのAI最適化型サイト制作サービスです。

### LLMOウェブ制作の特徴

#### 1 AI時代に最適化されたサイト設計

人間だけでなくAIにも認識・要約されやすい構造にすることで、将来の情報拡散や検索にも有利。

#### 2 圧倒的な低価格＆明朗な料金体系

初期制作費10万円＋月額保守費5,000円という、Web制作業界でも非常にリーズナブルで導入しやすい価格水準。

#### 3 納品後も手厚い7ヶ月サポート付き

納品後も7ヶ月間は修正対応や質問へのフォロー、簡易な改修などを標準で提供。

#### 4 ITが苦手な方でも安心の手厚い伴走とヒアリング

整理や要件定義から一緒に考え、「何を相談すればいいか分からない」レベルでも一歩目からしっかりと並走。

### いま、なぜ“AI最適化”が必要か。

従来の制作は「人間のための読みやすさ」を重視していました。しかし、今の情報流通の中心はAIによる要約・検索・生成。つまり、AIが発見し、要約し、他のサービスで使うことが前提になってきています。

GYAKUTENでは、こうした変化に対応するべく「LLMO技術」を活用し、AI時代でも成果を出せるWebサイトをフル設計・開発します。

#### こんな方におすすめ

- ・自社サイトをもっと「見つけられやすく」「引用されやすく」したい
- ・大手制作会社の見積もりやサービス内容に不満や過剰さを感じている
- ・将来的なコストや追加費用が不安で、明朗な料金体系が重要
- ・納品後も修正や相談にしっかり付き合ってほしい

01

## 「初期10万円・月額5,000円」の超低コスト×明朗価格

他のLLMO系専門業者は、初期費用が20万円超、月額費用も1万～5万円と幅が広い上に、オプション費用やコンサル契約で実質は高額化しがち  
競合では「診断/設計/制作/運用」で各契約が分かれて費用も膨らみがちだが、GYAKUTENは一気通貫&追加コストをコントロールできるから“費用の不安”をゼロに近づけている

02

## AI検索・要約に“引用される”構造化設計＋記事も丸投げOK

最先端のLLMO対策で「AI検索に“見つけられる”」だけでなく、「AIに“引用される・要約される”」ことを強く意識。metaタグ・FAQ・構造化データ・記事内のE-E-A-T設計を標準で実装。これによりAI・ChatGPT時代の情報拡散でリードを得やすい

02

## 「全工程を丸ごと頼れる」親身な伴走型サポート

多くの他社は「高品質」「技術力」や「戦略コンサル」を打ち出すが、契約後の具体的な保守運用まで一貫してフォローする体制、特に“ITリテラシーに不安がある中小企業・個人事業主向け”の徹底したかゆいところに手が届く伴走支援は圧倒的に希少

# LLMOウェブ制作の料金形態

◆ 初期費用：10万円

維持費：5,000円

お支払い方法：クレジットカード、お振込

※ 契約期間は7ヶ月です。

含まれるもの(制作・設計関連)	
AI時代最適化サイト設計・制作	コラム機能実装（希望時）
LLMO技術による構造化実装	基本SEO・メタタグ設定
レスポンシブデザイン対応	リリース時記事作成（オプション）
含まれるもの(サポート・保守関連)	
7ヶ月間の保守・運用サポート	修正対応・質問フォロー
簡易な改修・調整作業	メール・チャット無制限サポート
運用方法の指導・レクチャー	公開後の効果測定アドバイス

- 1

ヒアリング・要件整理

■ 依頼目的と目標の明確化 ■ LLMO対応範囲の認識合わせ
- 2

見積もり提示・ご契約

■ お見積もり提示 ■ ご契約手続き
- 3

制作開始～納品・運用開始

■ 設計・制作・実装 ■ 納品・7ヶ月サポート開始

このプランの特徴
AI検索・引用に強い技術設計
業界最安水準の明朗料金体系
ITが苦手でも安心の手厚い伴走
納品後も安心の7ヶ月サポート
"作って終わり"にならない運用重視
コラム記事執筆もセット化可能

※AI検索での上位表示や引用を保証するものではありません。検索エンジンのアルゴリズム変更により効果変動する可能性があります

## ■ お問い合わせ・ご連絡先

【オンライン無料相談予約】 【メール問い合わせ】

【電話問い合わせ】



gyaku-ten.jp/reservation



partner@gyaku-ten.jp

